

連載 第15回 『試聴室探訪記』

～谷口とものり、魅惑のパノラマ写真の世界～

スタジオ「サイデラ・マスタリング」

フォトグラファー 谷口 とものり・編集委員 森 芳久



今号の「試聴室探訪記」は、レコーディング&マスタリング・エンジニア、音響空間デザイナー、さらには自身で演奏家としても活躍されているオノ セイゲンさんが主宰するスタジオ「サイデラ・マスタリング」を取材させていただきました。

オノ セイゲンさんは、80年代より数々のミュージシャンの国内外のツアーなどで PA エンジニアを務められ、レコーディング&マスタリング・エンジニアとして、アート・リンゼイ、オスカー・ピーターソン、キース・ジャレット、マイルス・デイビス他、一流の演奏家の多数のプロジェクトに参加されこの世界での確たる基盤を築いてこられました。

また、新世代のスタジオデザイン、店舗やレストランなどの音響空間デザインなども積極的に手がけ、2010年、2012年にはミラノサローネ（世界最大規模の家具見本市）で、建築家の谷尻誠と組んだ視覚と聴覚により空間を抽象化した展示が大好評となり、音響空間デザイナーとしての地位も確率されました。

東京都現代美術館「第3回 東京アートミーティング：アートと音楽 新たな共感覚をもとめて」では、オノ セイゲン + 坂本龍一 + 高谷史郎による新作インスタレーション「Silent Spin」を発表。同作品は、3月よりシャルジャ・ビエンナーレでの展示が決まっています。

一方、演奏家としても、93年にスイス、モントルー・ジャズ・フェスティバルでデビュー。08年に3回目の出演となる同フェスティバルで、ソニーの Rolly を用いた “Le petit ballets des Rolly” を世界初演するなど独自の世界を創造されています。

ディスコグラフィーとしては、87年に川久保玲から「洋服が綺麗に見えるような音楽を」という依頼により作曲した『コム デ ギャルソン/オノ セイゲン』(現在も広告関係者、選曲家必聴アイテムと評されています)ほか多数のアルバムを発表されています。

今回は、そのオノ セイゲンさんの渋谷区神宮前の仕事場であるスタジオを、谷口さんの絶妙なアングルでのパノラマ写真でご紹介いたします。プロの仕事場の雰囲気をご存分にお楽しみください。

パノラマ画像の操作説明

パノラマ写真は、[ここ](#)か、はじめのページの**画像**をクリックしてご覧ください。

(ローディングに若干時間がかかる場合があります。)

マウス操作で、画面を上下・左右 360 度、自在に回転してご覧いただけます。

画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。

- + 画面のズームイン
- 画面のズームアウト
- 画面の左移動
- 画面の右移動
- 画面の上方向への移動
- 画面の下方向への移動